

2020年12月25日
南海電気鉄道株式会社

日本政策投資銀行の「DBJ環境格付」で最高ランクを取得

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北光彦、以下「当社」という。）は株式会社日本政策投資銀行（社長：渡辺一、以下「DBJ」という。）が実施する「DBJ環境格付」に基づく環境格付審査において、環境に配慮した企業経営が評価され、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という環境格付を取得しました。環境格付の取得は2014年9月に続き3回目であり、前回同様最高ランクのA評価を受けました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

今回、当社が特に高い評価を受けた点は以下のとおりです。

- (1) 中長期的な計画のもと、駅設備の快適性の向上や携帯翻訳機の導入を進め積極的な情報発信を行うことで、環境負荷が少ない鉄道利用を促進していることに加え、省エネルギー車両の導入やエコ運転研修の実施を通じ、鉄道事業において低環境負荷型社会への貢献を図っている点
- (2) 地域と協働しながら「なんかいの森」での植林活動や道普請などの環境保全活動を進め、沿線での生態系の維持・向上を目指すほか、なんばパークスでの屋上庭園の整備や環境配慮型オフィス・なんばスカイオの運営など、沿線地域の特色を生かしながら沿線の環境価値向上に寄与している点
- (3) これまでのCSRへの取り組みをより深化させるべく、「SDGs関連研修」を通じて吸い上げた従業員の意見をもとに、中長期的な視点で自社事業との関連性から事業を通じて解決すべき社会課題を整理し、コーポレートレポートで開示するなど、マテリアリティの特定に向けて着実に歩みを進めている点

今後もグループ会社一丸となって、環境保全活動およびSDGsへの取り組みに努めてまいります。



当社は、2020年12月、日本政策投資銀行（DBJ）より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

以 上